

令和6年度第1回南丹市男女共同参画社会推進委員会 会議録

日時：令和6年10月17日（木）午後1時30分～

場所：南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」大研修室

出席者：大坪洋子委員長、野中大樹副委員長、芦田美子委員、城戸貴子委員、
栗原明日香委員、清水有美乃委員、中川菜々子委員、矢野茂世委員

事務局：柴田裕子市民部長、浅田妙子人権政策課長、山口美香課長補佐、杉田遥菜主事

欠席者：木村節子委員、戸本節子委員、仲村哲委員、中村裕予委員

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. あいさつ 大坪委員長

ご無沙汰してます。皆さんお変わりありませんでしょうか。さて今日は第1回目、ヒアリングシートの計画を見せてもらいました。今日は皆さんに前もって配っていただいていると思いますので、意見を聞いて、また事務局の方で取りまとめていただきたいと思います。よろしくお願いします。

4. 議事

■「第2次南丹市男女共同参画行動計画ヒアリングシート」について (事務局説明)

男女共同参画社会基本法に基づいて、南丹市では男女共同参画行動計画ヒアリングシートを行っております。10年計画として「第2次南丹市男女共同参画行動計画」が2019（平成31）年に策定されました。10年計画の中間ということで、2024（令和6）年度からは新しい男女共同参画行動ヒアリングシートに基づいて、各課が事業の取り組み内容や目標等の評価を行っております。

新しい男女共同参画行動ヒアリングシートの内容につきましては、中間見直しにより削除された項目、新たに追加された項目（例：資料P22）があります。また、変更された項目の内容につきましては、2023年度以前の項目内容付近の枠内に記載しております。なお、変更箇所は朱書きしております。

男女共同参画行動計画のヒアリングシートにつきまして、市の審議会に要点を絞り、女性の登用割合について2022（令和4）年度の実績分と比較した結果について報告致します。（資料P10～13）

まずは、審議会全体の女性登用の割合を比較した結果について報告いたします。

令和4年度に委員の選出のあった審議会の数 は40であり、女性登用の平均の割合をとりますと、29%でした。そして、令和5年度に委員の選出のあった審議会の数 は42であり、女性登用の平均割合は28%でした。全体の平均割合としてみますと、1%減少しておりました。

次に全審議会の中で男性の割合の多い審議会、女性の割合の多い審議会をそれぞれ多い順番で3つずつ報告いたします。まず、令和5年度実績分で男性の登用割合の一番多い審議会は、「南丹市都市計画審議会」が94%でした。令和4年度の実績では95%であり、令和4年度でも一番男性の登用割合が多い審議会です。2番目に多い審議会は「南丹市民生委員推薦会」の93%でした。令和4年度実績分では3番目に多い審議会でした。3番目に多い審議会は3つ同率で、「南丹市地域公共交通会議」、 「南丹市農業振興推進協議会」、「文化財保護審議会」が男性の登用割合が92%でありました。令和5年度実績分で女性の登用割合の一番高い審議会は、「南丹市男女共同参画社会推進委員会」の85%です。令和4年度実績分でも一番女性の割合が多く、令和4年度では77%でした。2番目に多い審議会は「南丹市子ども・子育て会議」の68%でした。令和4年度でも2番目であり、75%でした。3番目に多い審議会は「南丹市子育て発達支援センター運営委員会」の60%でした。令和4年も3番目に多く、53%でした。

以上のように男性の多い審議会、女性の多い審議会などありますので、女性の登用割合を増やすことだけに力を入れるのではなく、男性の意見も同様に必要でありますので、これからも女性と男性の登用の割合が50%になることを目標に進めていきたいと考えております。

では次に、女性登用の割合の増減のあった各審議会について報告いたします。「南丹市市民参加と協働の推進委員会」は令和4年度は7人中3人であったところ、令和5年度は一人増加し、6%増加しております。また、「南丹市地域公共交通会議」は令和4年度は22人中3人であったところ、令和5年度は25人中2人であり、6%減少しております。「男女共同参画社会推進委員会」は令和4年度は13人中10人であったところ、令和5年度は1人女性が増加したため、8%増加しています。「南丹市文化センター運営審議会」も同様に一人増加したため、令和4年度から令和5年度で6%増加しております。「南丹市子育て発達支援センター運営委員会」一人増加したことにより、令和4年度に比べて7%増加しています。「南丹市地域自立支援協議会」は二人増加したことにより、令和4年度に比べて11%増加しております。

「高齢者福祉センター運営委員会」は一人減少したことにより、10%減少、「高齢者虐待防止ネットワーク会議」も一人減少したことにより、7%減少しました。「南丹市子ども・子育て会議」は令和4年度は20人中15人であり、令和5年度は19人中13人になったことにより、7%減少しております。最後に、「南丹市都市計画審議会」は令和4年度は19人中1人でしたが、令和5年度は17人中1人になったことで、1%増加しました。

以上で「第2次南丹市男女共同参画行動計画ヒアリングシート」についての説明を終わらせていただきます。

(質疑・意見)

○委員

「南丹市福祉計画審議会」は、全体数が19名だったのが17名になって、委員が1名で、プラス1%とのことでしたが、分母が小さくなったから率が上がったのですね。良い勉強になる審議会なので、もっと女性が増えて、いろんな事を任せの方がいいのではないかと思います。

○事務局

やはり女性の人数が増えるということが、いろいろな方の意見が市政に届くことにもなりますので、私共も望んでいるところです。

○委員

ここに限らずではありますが、13ページの上から3つ目に、「委員選出については、女性委員の参画を考慮しているが、団体からの委員選出についてはこちらから要望することは厳しい」というように書かれているので、その理由や、働きかけると書かれている場合の具体策はどのようなものなのでしょうか。

次に、14ページの上から3つ目に、「男性に比べ女性職員の管理職になりたくないという割合が多い」と書かれていますが、この女性職員が管理職になりたくない理由は、統計があるのでしょうか。

最後に、27ページの「生涯を通じた健康づくりの支援」の実績が書かれている中の、上から3つ目に、「保育ルームの設置を開始している」と書かれてありますが、どのぐらいの利用があるのでしょうか。

○事務局

まず最初のご質問について、団体の方に委員選出を依頼する際に「女性（もしくは男性）を優先して選出してください」と言えないということがあり、委員会の内容によっては専門的な知識のある方を選出いただく場合は男性の多い職種だと、どうしても男性の割合が多くなってしまいます。このような意味で「団体からの委員選出についてはこちらから要望することは厳しい」と書かれているのだと思います。

○委員長

この審議会も男性が少ないので、ここにも男性がもっと選出されないといけないですね。審議会によっては、男女1人ずつ選出してほしいと依頼できる団体もあるけれど、このように依頼できない団体もあり、いろいろな審議会があるとは思いますが、一気にはいきませんが、定義をしていただければと思います。

○事務局

次に2個目の質問の「男性に比べ女性職員の管理職になりたくないという割合が多い」という記述について、人事課回答ですので、確認はできておりませんが、私自身の話だけでいきますと、家庭があり、主人も勤めていて、家事も子供たちの世話も自分たちでなければならぬ環境で、管理職という責任を持って仕事ができるだろうかという不安が大きいかなと思います。

個人調査というものがありますのでそれに基づいての意見ではないかと思います。

最後に、保育ルームの設置の利用数についてですが、確認ができておりませんので、後ほど確認し、ご報告いたします。

○委員長

10ページの「南丹市消防委員会」の消防委員会は、会議を開催しておらず、委員選出をしていないということで、消防委員会って大事だと思うので、会議を一度もやってないのは大丈夫だったのかという素朴な思いがあります。

また、全体として2024年度事業計画で、各課によって計画の1、2、3、4のチェックの仕方が統一されていないところがあるのかなという気がします。ほとんどが2になってるので継続ということで、無難な回答していると感じました。

このヒアリングシートは、意見を聞かれたら、どのように流れ、動いていくのですか。

○事務局

ありがとうございました。今回ご意見をいただいたことを、担当課に連携し、それが次に繋がる事業内容となるように、お話をさせていただきます。

○委員長

このヒアリングシート各課に作成依頼をしても、担当者が年度により変わってるので、男女共同参画に深く関わってる人であったり、または、とにかくヒアリングシートを出さないといけないから出すみたいなお人であったりと、課によってあると思います。そのあたりを含めて、ヒアリングシートを出したら終わりではなくて、1年中続いてますというようなことをお願いしたいと思います。

○副委員長

先ほど委員長の方から「南丹市消防委員会」は、会議を開催しておらず委員選出をしていないというお話が出たので、お伝えします。実際のところ5、6年は委嘱もない状態が続いていたのですが、今年度8月6日に委嘱状交付がされ、消防委員会も開催されました。委員10名中2名が女性委員が選出されておりますのでご報告させていただきます。

○委員

先ほど委員長がおっしゃったように、私もヒアリングシートの位置付けがあまり明確でなく、計画期間中の実績の内容が本当にまちまちだと感じました。例えば、その年度中に実施された回数とか参加人数とかがわかれば、明記していただいた方が、どれだけ取り組まれたがわかりやすいなと思いました。それらをお答えされている課もあったり、されていない課もあったりで、温度差があり、どこから質問していいかわからないという状態です。各課の意見なので、どの程度掘り下げるのかということを尊重しつつも、どの程度お聞きしていいのかわからずじまいなので、事業を実施されたのであれば、実施回数や参加人数などを記入していただくと、わかりやすいと思います。

○委員長

担当者がわからずに書いてることもあると思います。だから、男女共同参画に関わることだけでも。詳しく報告してくれたらという気がします。

○事務局

ありがとうございます。わかりやすいということが、今後の男女共同参画を一つずつ意識させる元にもなろうかと思いますので、次年度に向けての課題として、様式についても、またその様式に書く際の説明文についても詳しく書いていただけるようなことにできるように、検討していきます。

■「配偶者からの暴力をなくす啓発期間」について（資料6）

（事務局説明）

資料6の「令和6年度 配偶者からの暴力をなくす啓発について」ご報告させていただきます。配偶者からの暴力をなくす啓発の目的は資料の通りですので、ご確認ください。実施期間につきましては、11月12日から25日の2週間であり、期間中には街頭啓発、ライトアップ事業、パープルリボンツリーなどの啓発事業を行います。

街頭啓発は11月14日、16時半から園部と八木のマツモトで啓発物品を配ります。例年、男女共同参画社会推進委員会、女性ネットワーク会議の方々に参加を募るかたちでお世話になっておりますが、今年は男女共同参画推進委員会からは、副委員長様にご協力いただくことになりましたのでご報告させていただきます。また、啓発物品のウェットティッシュは所管施設、各支所に配架いたします。

では次に、ライトアップ事業につきまして、今年度は国際交流会館でのライトアップは行わず、園部高等学校でのみライトアップ事業を行います。そして、去年度よりも長く、11月12日から25日までライトアップを行います。

最後に、パープルリボンツリーにつきまして、今年度はツリーを中央図書館で展示いたします。中央図書館では、パープルリボンツリーやポスター、チラシの他に、関連図書、DVに関連した図書を展示していただきます。11月12日から25日が啓発期間ではありますが、月曜日は図書館が休館のため24日までの掲示となります。以上で令和6年度「配偶者などからの暴力をなくす啓発」について、説明を終わります。

5. その他

■キラリなんたん女性セミナーについて

(事務局説明)

今年度の新規の男女共同参画の事業となります。活気ある町にしていくことを目標に、まちづくりに特に女性の声が届くようと、講座を受けていただき、スキルを身につけるという計画をいたしました。8月から実施しておりまして、10月5日の話し方講座まで終了しております。11月3日からは実践編という形で合計3回の講座を開きます。追加募集を現在させていただいております。第1回目の8月17日の講演から、10名の方に参加していただいております、今後の実践編のセミナーも受けていただきます。市の各審議会では、なかなか公募として手が挙がるのが少ないなど聞いておりますので、そういったところに手を挙げていただき市政に女性の意見が反映させられるような力をつけていただきたく実施しております。ご関心のある方がございましたら、ぜひとも、参加していただけたらと思いますし、またこの方、いいんじゃないかと思われる方がいらっしゃったら、後押ししていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

■南丹市人権フォーラムの開催について

(事務局説明)

例年人権フォーラムを実施しており今年も開催いたします。人権週間は12月ではありますが、会場の関係で11月30日の開催となりました。今回は、モラルハラスメントをテーマとした学びということで、NPO法人の女性と子供のエンパワメント関西事務局長をなさっている井山里美さんに講師としてお世話になり、講演会を実施します。言葉の暴力について主にお話をさせていただきます。市民の一人一人が命を大事にするということを目的として、開催したいと思いますので、こちらの方もぜひ皆様方もご参加いただけたらと思います。全戸配布でチラシを配布する予定としております。

■KY0のあけぼのフェスティバル 2024 について

(事務局説明)

こちらは11月2日土曜日10時から15時ということで、京都テルサの方で開催がされます。活躍をなさっている方々の表彰、講演会、またいろいろなワークショップが開催されます。男女共同参画のことを考える一日となっておりますので、ぜひご参加いただけたらと思います。

■南丹オレンジガーデンプロジェクト しおりづくりのワークショップについて

(委員説明)

南丹オレンジガーデニングプロジェクト、ご存じでしょうか。ここ4年ほど、南丹市でも取り組んでおります。世界アルツハイマー月間に合わせてオレンジの花を町中に咲

かせようという取り組みです。2年ぐらい前から、認知症の方がいらっしゃる施設の方に、花の種の仕分けと袋詰めをしていただいています。その種を配り植えていただくという取り組みです。今年は花の写真の投稿や、ワークショップへの参加、勉強会への参加、図書館で認知症に関する本を借りるといったことを、スタンプラリー方式で行っています。この時期はしおりづくりがあります。コスモスの押し花をラミネートして作ります。1人につきA4のラミネートシートを1枚お渡ししますので大体5枚ぐらい作っていただけます。内1枚は図書館に寄贈していただくことで、図書館来られた方にご自由にお持ち帰りくださいというような形にしております。しおりの紐は、去年、園部小学校の手芸クラブの子供たちが染めた毛糸と、布を切ったものを使っています。10月19日は八木の方でしおりづくりを実施します。また、中央図書館の方では11月に実施予定しております。美山の方では12月にあります。中央図書館は、パープルリボンツリーを掲示する時期とも重なってますし、認知症の本の展示もやっていますので、もしよければ、参加してください。申し込みは人数把握のために取らせていただいております。地域包括支援センター、その他図書館の方でも申し込みができますので、よかったらぜひ皆さんご参加ください。

○委 員

ヒアリングシートに、色々な情報をSNSや広報南丹のような形で、皆さんにお知らせしていきますと、どこの課も書いてくださってるんですけども、それが見られる人と見られない人とありますよね。高齢者の方だと、スマホや、パソコンを持っていなかったら見られないということもお聞きするんですね。検診にしても人の力を借りないと申し込みもできないということがあって、高齢者に対する配慮も必要だと思います。今、高齢化率がかなり上がってきていますので、私たちの地域でも、高齢者になったらすぐ施設みたいな傾向がとても寂しいなと思うんです。体がちょっと不自由になっても、ちょっと認知症にかかりかけても、地域で暮らしていけるような地域づくりをしていきたいなと思います。そのためには、わかりやすい情報の流し方と、聞いてくださる人、近所の輪ができていけるような、南丹市でありたいなと思いますのでその辺のところも配慮いただいたら嬉しいなと思います。

6. 閉会

○野中副委員長

第1回ということで、大変お忙しい中ご参加いただきまして誠にありがとうございました。次回も、皆さんの顔が元気で見られますことを祈りまして、今日の閉会の言葉とさせていただきます。本日はお疲れ様でした。